



2006～2007年度 NO 46
長崎西ロータリークラブ週報
 Nagasaki West Rotary Club
 第1088回 例会記録 平成19年6月19日

会長総括並びに理事・幹事最終報告

LEAD THE WAY

2006-2007年度テーマ

会長総括

会長 馬場 政徳



昨年7月4日、2006～2007年度長崎西ロータリークラブ会長として第1回の例会がスタートしてから、早1年が経過しようとしております。スタートする直前の2ヶ月前に幹事予定者が退会するというアクシデントが発生して、どうなることかと先が思いやられました。幸いにもベテランで2度目の幹事を日高さんに引き受けて頂きまして胸を撫で下ろした次第でございます。平安閣の柿川社長にも快くお許しを頂き、日高幹事と共に二人には大変感謝しております。

ただ、先日柿川社長にお会いした時に「馬場君、3回目はもう駄目よ!」と言われました。幹事を3回が駄目なら、そのうちに会長だったらいいのではないかなど期待しております。

田口ガバナーが掲げられた、地区の4つの係数目標があります。1番目の会員増強は最低1名の純増でしたが、クリア出来る見通ししております。2番目のロータリー財団年次寄付目標は残念ながら、達成出来ませんでした。3番目のロータリーベネファクターも1名の目標でしたが、未達成です。4番目の米山記念奨学会年間寄付目標の84万円は、達成することが出来ました。ご協力ありがとうございました。

2006～2007年度会長賞プログラムはお蔭様で達成し、5月12日に開催された地区協議会で会長賞の表彰を頂きました。ちなみに57クラブ中11クラブしか受賞出来なかったということです。

今年度、私が掲げた方針は5項目ありますが、1番目の「楽しい例会」は、これまでの例会進行を大きく変更し、食事と懇談の時間を十分に取ったことです。反省点は、会長が司会をすることで幹事の出番が少なくなり、日高幹事は1年間手持ち無沙汰だったということです。2番目に「親睦と融和」は、まずロータリー情報委員会で、西会をこれまでになく3回開催されたことです。3番目の「会員増強と退会防止」については、9名の方から入会して頂きましたが、5名の方が退会されました。

誠に残念ながら、折式田さんと豆谷先生が亡くなられたことが、予期せぬ出来事でもあり想定外の事でした。結局、現在のところ純増4名で来期に引き継ぐこととなりますが、2ヶ月前に開催された第9・第10グループ会長幹事会において会員数の現状発表で、当クラブは再入会して頂く方が多いことを発表すると、大変うらやましがられました。ちなみに今年度は2名の方に再入会して頂きましたが、これまでに7名の方から再入会して頂いております。このことは私の自慢ではなく、西クラブ会員全員の絶え間ない熱意と再入会頂いた皆様の友情に寄るものであると確信しております。

4番目の地区係数目標は先ほど申し上げましたので省きます。

5番目のCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)は地区としても消極的であり、将来的に実現するかどうか判らないプランでしたので、検討することはしませんでした。

以上が地区または当クラブで掲げた目標でしたが、それぞれの委員会では活発に活動が行われました。

主だった委員会活動のみを紹介します。

会員増強委員会は、久保委員長が積極的に新会員の推薦と紹介の呼びかけを行いました。その結果、9名の入会が実績として上がりました。親睦活動委員会は、結婚・誕生日・入会等のお祝いを毎週に分けて行いました。また、ニコニコの年間目標180万円を達成することが出来るかどうか、ぎりぎりの瀬戸際です。最後までご協力をお願い致します。クラブ会報委員会は、今年度からA4サイズに変更し、メール配信と紙面による配布を行いました。また、私の希望で、長崎の今と昔の町や建物の写真を掲載しました。希望した責任上、昔の写真の収集と現在の写真は私が全部撮影しました。広報委員会は、柿川委員長が入会以来活発な委員会となり、委員会活動やIMの際にも大活躍して頂きました。地域発展委員会では、マリア園の毛布クリーニングを、三宅さんのお世話で本年も実施することが出来ました。三宅さんは西クラブがスタートする前から独自で職業奉仕でこのお世話をされておられ、20数年にもなるそうです。また、11月12日知的障害者とのふれあいボーリング大会を実施しました。環境保全委員会では、恒例の風頭公園に桜の植樹を行いました。世界社会奉仕委員会は、トーマス・グラバー奨学生、カリーナ・ワットさんを迎え入れ、田中嘉行委員長と江上副委員長のお世話で約20日間滞在しました。また、インドネシア難聴支援対策事業は、東ジャカルタ・メディローズ病院耳鼻科に4万5千ドルの機器が贈呈されました。

青少年委員会は、施設の子供達と海星インターアクトも加わって、高島での釣り大会を開催しました。

また、高島小中学校の運動会にも特別参加して交流の場を持ちました。

以上、各委員会の皆様、たいへんご苦勞様でした。

今年度最大の難題はIMの開催でした。IM実行委員長にベテランの柳さん、副委員長に四元さん、すべてを取り仕切って頂いた井上司さんの会長幹事三代の固い絆を中心に準備は進行致しました。

詳細はガバナーマンスリーに記載しておりますが、予算が潤沢ではないということが最大の難点でした。

20数名からなる実行委員会を何度となく開催し、お金のかからない手作りのIMを模索した結果、講師に当クラブの江上先生による「インドネシア難聴支援対策事業」と、菅奎二郎さんによる「私の記者人生」を決定しました。ただ、これまでのIMはパストガバナーによる勉強会が必須条件のような慣習があるようでしたので、型を破ることはたいへん勇気のいることでした。しかし、結果は予想に反して大好評を頂き、また西クラブの団結力を大いに評価して頂きました。記録誌は島田委員長以下、委員会の皆さんに奮闘して頂き、5月末に発行することが出来ました。開催日から3ヶ月で発行出来た事はたいへんな努力で、これまではIM開催から半年以上かかって手元に届いていたように思います。最後に、ガバナー訪問の際、事前協議で当クラブの出席率が極めて悪いことを指摘され、最後まで改善が出来ませんでした。最近の風潮として、他クラブへのメーキャップをしてまで欠席をカバーしようとするのがなくなったのではないかと思います。

次年度への申し送りとして、出席率向上をひとつの課題として頂きたいと思います。日高幹事始め、理事役員の皆様、各委員長の皆様、そしてクラブ会員の皆様方に支えられて、役目を終了することが出来そうです。1年間、やりたい放題にさせて頂きました。それを暖かく見守り、許して頂いた西クラブメンバーの友情に感謝して会長総括を終わります。

理事・幹事最終報告並びにご挨拶

江上会長エレクト・水本職業奉仕担当理事・熊澤地域発展委員長(三宅社会奉仕担当理事代理)

田中国際奉仕担当理事・井上新世代担当理事・日高幹事

